

第一回学校関係者委員会（令和7年度分）議事録

開催日時：2026年5月29日(金) 13:00-14:00

開催場所：清風情報工科学院

委員：

岡部 武 様 合同会社シュガーカット[2022年3月卒業]

岩根 裕典 様 株式会社今日見堂企画[2009年3月卒業]

教職員：

平岡 憲人 清風情報工科学院 学校長

武田 絢野 清風情報工科学院 学科長

友金 牧人 清風情報工科学院 副学科長

議事式次第：

開会

学校長挨拶

出席卒業生紹介

意見交換

次回開催：2026年10月 予定

●学校長挨拶

学校関係者委員会は卒業生からフィードバックをもらえる重要な会議である。現場での AI との関わり方など役に立つような情報を頂けるとありがたい。

●コンピュータ学科前期報告

資料をもとに学科長から説明

●シリコンバレー研修報告

昨年度は 1 名の参加

費用の高騰で、学生にとっては金銭面が厳しくなっている

■意見交換

(1)教育理念・目標

学校としての目標、学生自身が在学中に目指すべきゴールが明確になっており学生が自らの目標を考えやすい環境になっていると感じる。

- A. 職員一同が教育理念・目標を共有し具体的に教育現場に活かしていくようさらに努力していく。

(2)学校運営

教育理念・目標を踏まえたカリキュラムコンセプトをしっかりと立てられています。昨年度はシリコンバレー研修が実施されたが、どうだったか。

- A. 昨年度シリコンバレー研修に参加した学生の成長は目を見張るものがあり、少人数であっても今後も続けていきたいと考えている。しかしコロナ前に比べると価格が高騰しており、参加者の増加はあまり見込めない

(3)教育活動

各企業が新入社員に何を期待しているか、その変化を学生が感じ取る必要がある。仕事ができる＝会社が欲しいではない。リアルで人と関わる力、挨拶、返事ができる等の基本的なヒューマンスキルが大切になってくるのでそこを学校生活で身に付けてほしい。

- A. 人前で話す力を身に付けるため、プレゼン練習に時間を割くようにしている。また、報連相の徹底により、締め切り管理、連絡体制の重要性を教育するようにしている。

(4)学習成果

業界における AI の普及スピードは目覚ましく、学生が将来活躍するためには AI を使いこなすスキルが不可欠だと感じる一方で、その土台となる基礎的な技術や知識が疎かになっては本末転倒である。学校には、時代の最先端を追うだけでなく、根底にある職人的・専門的な基本もしっかりと叩き込んでほしい。

- A. 従来の技術習得と AI 活用の両方を教育する必要がある。

(5)学生支援

ゲーム専攻から大手ゲーム会社への就職があったことは評価できる。1 年次からの早めの面談も効果が出ていると感じる。

A. 継続して行います。より効率的で効果の出る人員の配置を行っていきたいと考えます。

(6)教育環境

学生の理解度は人それぞれなのでできる限りのサポートを行ってほしい。

A. ガイダンス、オープンキャンパス等の対応を引き続き継続していきます。

(7)学生の受け入れ募集

オープンキャンパスを年間30回以上も開催し、それ以外の会場ガイダンスでも、入学希望者に情報を伝える努力をしていると感じる。また、学校ホームページ等で学生作品等の情報が発信されていることで入学を検討する上での判断材料となっている。

A. ガイダンス、オープンキャンパス等の対応を引き続き継続していきます。

(8)財務

より頑張ってください。

A. 大学との兼ね合いもありデザイン・コンピュータ学科は入学者数が数年前よりは減少しています。学生募集に力を入れていきます。

(9)法令等の遵守

自転車に関する道路交通法が改正され、留学生だけではなく日本人も含む学生の違反や事故に気を付けてください。

A. 自転車だけではなく、タバコやゴミのポイ捨ても地域の問題となっています。地元の阿倍野警察署とも連携し、また担任からも周知していき、事故トラブルが無いように取り組んでいきます。

(10)社会貢献・地域貢献

地域の祭礼や清掃活動などに参加する機会はあまり無く、周辺地域の方々に学生の姿を見ていただけるため、大切にしているのが学習面だけでないということを知っていただける良い機会であり、継続して行ってほしい。

A. 日本文化への体験という観点からも留学生にはなるべく参加してもらうようにしている。継続して、学外での活動を通じて人間教育をしていきます。